



ペレットストーブ

エコティ PS302

ユーザーズマニュアル

このたびは、本品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。  
ご使用前に、このマニュアルを必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

株式会社 西村精工

2020/1

---

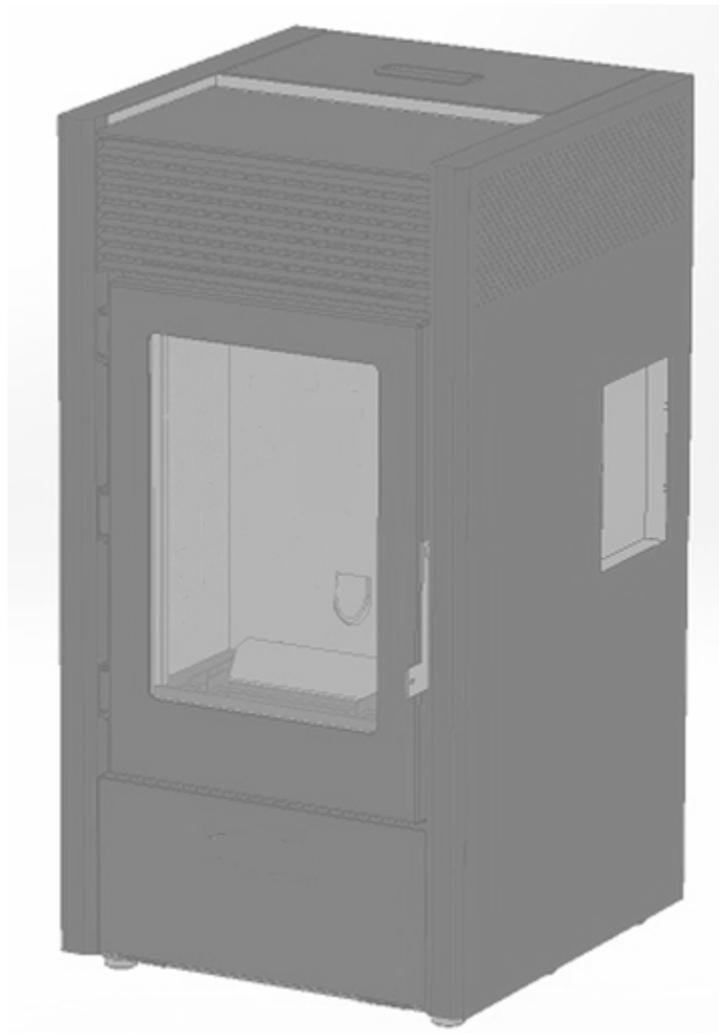
NISHIMURA SEIKO CO.,LTD

もくじ

1. はじめに	1
2. 特に注意していただきたいこと	2～5
3. 機器構成	6～7
4. 使用前の準備	8～13
5. 使用方法	14～20
6. 点検・お手入れ	21～22
7. エラー表示内容	23
8. トラブルシューティング	24～26
9. 仕様	27
10. アフターサービス	28

## 1. はじめに

- このマニュアルは、操作、メンテナンスに必要ですので、お客様が必ず保管して下さい。操作、メンテナンスの前に本書をよく読んで下さい。本書に書かれているメンテナンスは必ず実施して下さい。この製品は、本書に記載されている使用方法にしたがって使用して下さい。それ以外の使い方や、誤った使い方をすると危険です。その際生じた事故や故障は、すべてお客様の責任となります。この製品の設置、メンテナンスおよび修理は、お客様自身ではなく専門の技術を持った弊社代理店の手でとりおこなってください。部品交換が必要な際は、必ず正規の部品を使用して下さい。誤った設置の仕方や、ずさんなメンテナンスによるけがや器物破損が生じた場合、弊社はいかなる責任も負いません。
- 製品のクリーニングやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。この製品は、防火設備の整った建物に設置し、電源や排気口など必要なサービスをきちんと確保して下さい。



## 2. 特に注意していただきたいこと

# 安全のために必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」
	この絵表示は、「注意」
	この絵表示は、「指示」



# 警告 (WARNING)

	<p><b>使用燃料は木質ペレット以外厳禁</b></p> <p>●燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対入れないでください。 火災の原因になります。</p>
	<p><b>排気筒外れ危険</b></p> <p>●排気筒が外れたまま使用しないでください。 外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p><b>燃焼室扉解放厳禁</b></p> <p>●燃焼室扉が確実に閉められていることを確認してください。 燃焼中、外れ・すき間があると排ガスや炎が室内に漏れて火災が発生するおそれがあります。</p>
	<p><b>排気筒トップ閉そく危険</b></p> <p>●積雪の多い地方では、排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれている時は、除雪をしてください。 閉そくしていると運転中に、排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p><b>かん合部の外れ禁止</b></p> <p>●灰受けやタンク扉などが確実に閉められていることを確認してください。 燃焼中、外れ・すき間があると燃焼不良や排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p><b>スプレー缶厳禁</b></p> <p>●スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどを、温風の当たるところに放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。</p>
	<p><b>衣類の乾燥厳禁</b></p> <p>●衣類などの乾燥には使用しないでください。 衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。</p>
	<p><b>定期点検の実施</b></p> <p>●定期的（1年に1回）に点検・整備・機器内部の清掃を受けてください。 点検・整備・機器内部の掃除を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因となり危険です。定期点検は設置業者又は弊社代理店に依頼ください。</p>
	<p><b>改造使用の禁止</b></p> <p>●改造して使用しないでください。また、ストーブや排気筒には床暖房用熱交換器などを取り付けしないでください。</p>



# 注意 (CAUTION)

	<p><b>カーテン、可燃物接近禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カーテンや燃えやすい物を近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。可燃物との離隔距離については弊社推奨離隔距離を準拠ください。</li> </ul>
	<p><b>特殊な場所での使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ストーブは居室の暖房用として作られたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店、美容室など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。</li> </ul>
	<p><b>高地注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●標高の高い場所（標高 1000 m 以上）では使用しないでください。正常な燃焼ができなくなる可能性があります。こえて使用する場合は弊社又は弊社代理店にご相談下さい。</li> </ul>
	<p><b>異常時使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●万一異常を感じたときは、使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。</li> </ul>
	<p><b>手や指、異物を入れない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ストーブの内部や燃料タンク内には、手や指、紙、布、プラスチック、おもちゃなどの異物を入れないでください。</li> </ul>
	<p><b>高温部に注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●燃焼中や消火直後は、高温部、放熱部、排気筒に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。</li> <li>●やかんやなべの取っ手は、加熱している場合もありますので火傷に注意してください。</li> </ul>
	<p><b>大なべ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●天板からはみ出すような大きな鍋や不安定なやかんなどは使用しないでください。転倒するおそれがあります</li> </ul>
	<p><b>やかんやなべなどの使用注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●やかんやなべなどをのせる場合は、細心の注意をしてください。振動や接触によって、やかんやなべなどの熱湯がこぼれ、やけどをしたり、扉ガラスが割れたり、異常燃焼などの原因になります。</li> <li>●吹きこぼれたり、煮こぼれしたりさせないでください。ストーブの故障やサビ発生の原因になります。</li> <li>●やかんやなべなどをタンク扉の上のにせないでください。タンク扉などが熱くなりやけどのおそれがあります。</li> <li>●ストーブは防水ではありません。水分が本体やタンクの内部に入ると故障や漏電の原因になります。水分が本体やタンク内部に入った場合は、弊社代理店に点検を依頼してください。</li> </ul>

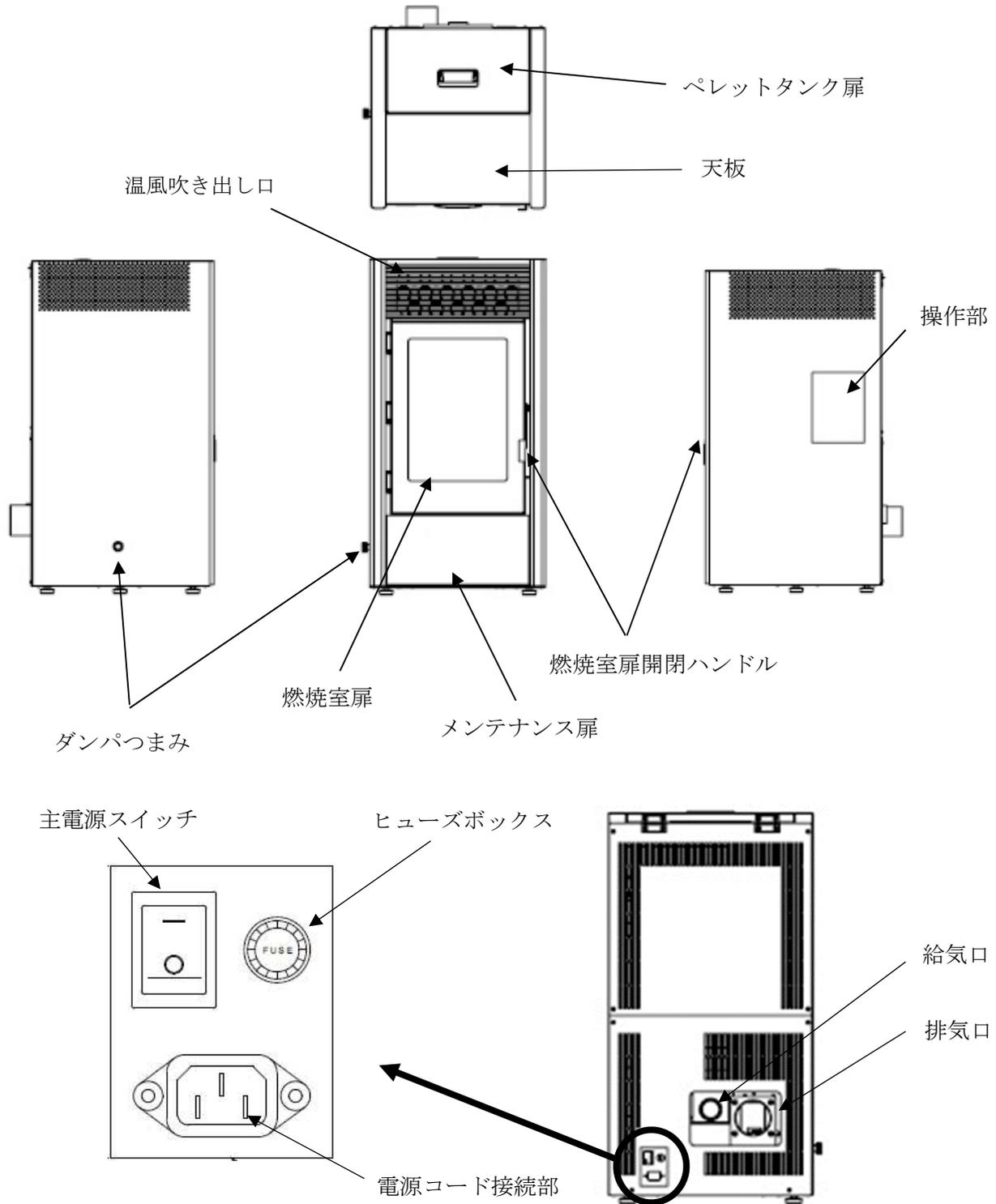
# 注意 (CAUTION)

	<p><b>腰かけ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●腰かけたりしないでください。</li> </ul> <p>ストーブの故障ややけどのおそれがあります。</p>
	<p><b>分解修理の禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障、破損したら使用しないでください。不完全な修理は危険です。</li> </ul> <p>故障、破損したら設置業者や弊社代理店にご連絡ください。</p>
	<p><b>燃料供給時消火</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料供給は必ず消火してから行ってください。</li> </ul> <p>火災ややけどのおそれがあります。</p>
	<p><b>換気経路の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ストーブを使用しているときに換気扇を使用する場合は換気経路を確保してください。</li> </ul> <p>気密性の高い室内で換気扇を使用した場合ストーブの排気が出来なくなる場合があります。</p>
	<p><b>排気筒延長時の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●排気筒を弊社が推奨する長さ以上に延長する場合は設置条件によって燃焼パラメーターの調整が必要となる場合があります。そのまま使用しますと排気不良となり、異常燃焼の原因となります。弊社又は弊社代理店にご相談ください。</li> </ul>
	<p><b>回転体に注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中のペレットタンク内などに手を入れないでください。</li> </ul> <p>回転物にはさまれ、けがのおそれがあり大変危険です。</p>
	<p><b>燃料保管方法の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●木質ペレットは、雨風の当たらない屋内で保管してください。</li> <li>●湿った木質ペレットを使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。</li> </ul>
	<p><b>電源コードを傷めない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。</li> </ul> <p>火災や感電の原因になります。</p>
	<p><b>電源プラグは確実に差し込む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。</li> <li>●ぬれた手での抜き差しはしないでください。漏電の原因になります。</li> </ul>
	<p><b>長期間使用しないときは電源プラグを抜く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul> <p>火災や予想のしない事故の原因になります。</p>

### 3. 機器構成

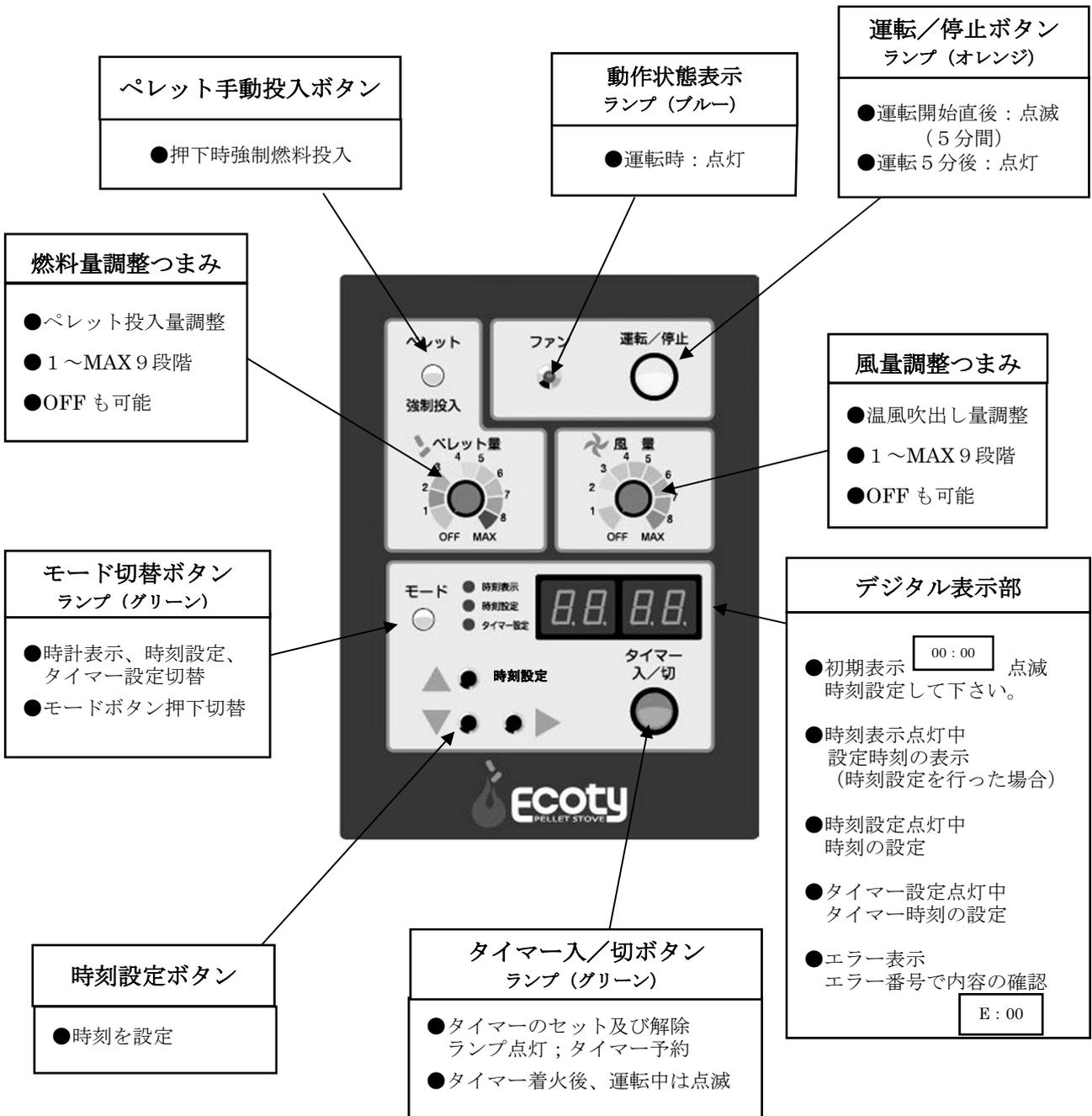
#### 3.1 概観

エコティ PS302 の概観は下記のようになります。



※背面には下記のような電源接続部があります。

3.2 表示部・操作部



## 4. 使用前の準備

### 4.1 燃料

- 燃料は弊社推奨する ISO 規格準拠の A1 認証品又は同等品質のペレットをお使いください。  
A1 認証品以外の木質ペレットの使用は燃焼に支障をきたす場合があります。
- 木質ペレット以外の固形燃料などは絶対使用しないでください。  
故障や燃焼不良また火災の原因になります。
- ペレットが粒子状に崩れた粉の多いものは使用しないでください。  
燃焼不良の原因になります。

### 4.2 供給

※ペレットの供給はストーブを消火させてから行ってください。

#### 1. タンク扉を開ける



#### 2. タンク内にペレットを投入する。※ISO規格のA1認証品を推奨します。

- ペレットをタンク上面付近まで投入する。
- ペレットはタンク内に均一になるように、ならしながら投入してください。



#### 3. タンク扉を確実に閉める

- タンクの扉が確実に閉まっているか確認してください。  
すき間があると燃焼不良の原因になります。



### 4.3 点火前の準備と確認

#### 1. ストーブ周辺の確認

- ストーブ周辺及び排気筒の周辺に引火物や可燃物を置かないでください。  
火災や予想しない事故の原因になります。



#### 2. 排気筒の接続の確認

- 排気筒が正しく接続されているか確認してください。  
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて大変危険です。



#### 3. 燃料の確認

- 燃料タンク内には、木質ペレット以外の固形燃料やガソリンや灯油などの液体燃料を絶対入れないでください。  
火災や故障、燃焼不良の原因になります。
- 推奨品以外の木質ペレットの使用は、機器に支障や燃焼不良をきたす場合があります。



#### 4. 燃焼室扉、タンク扉、灰受けのかん合の確認

- 燃焼室扉やタンク扉、灰受けなどが確実に閉まっているか確認してください。  
すき間や外れなどがあると燃焼不良になったり、排ガスなどが室内にもれたりして危険です。



#### 5. 電源プラグの接続

- 電源プラグを100V（15A以上）の専用コンセントに差し込んであるか確認してください。  
※必ずアースを接続してください。

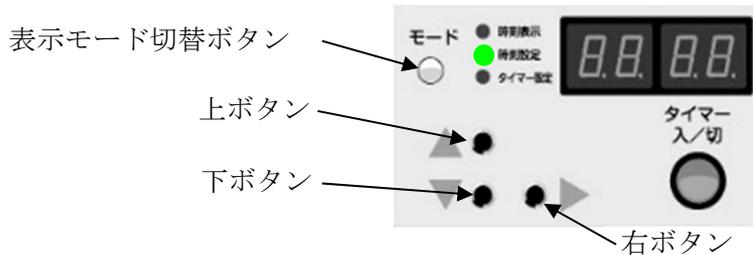
## 4.4 操作部のセットアップ

★操作部のセットアップの際には背面の主電源スイッチを ON にして下さい。

### 1. 時刻の設定

初めてお使いの時や 1 ヶ月以上電源を投入しなかった場合には現在時刻が未設定となります。

操作部の表示モード切替ボタンを押してモードを時刻設定に切り替えてください。



時刻設定モードのときに時刻設定ボタンを操作することで現在時刻の設定を行います。右ボタンを押すたびに時刻表示部が左側から点滅しますので、上下ボタンで時間を設定してください。時刻表示は 24 時間表示です。

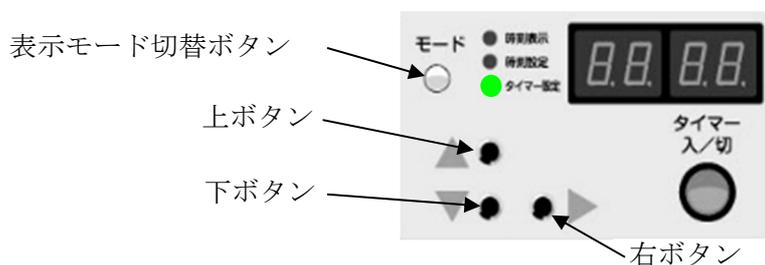
1 番右 (分 1 桁) の設定後さらに右ボタンを押すと時刻が設定されます。この時右ボタンを押したタイミングで秒は 0 に設定されます。

時刻設定モードで 10 秒間無操作になると自動的に時刻表示に戻ります。

### 2. タイマー時刻の設定

初めてお使いの時や 1 ヶ月以上電源を投入しなかった場合にはタイマー時刻が未設定となります。

操作部の表示モード切替ボタンを押してモードをタイマー設定に切り替えてください。



タイマー設定モードのときに時刻設定ボタンを操作することでタイマー時刻の設定を行います。

右ボタンを押すたびに時刻表示部が左側から点滅します。上下ボタンで時間を設定してください。時刻表示は 24 時間表示です。

1 番右 (分 1 桁) の設定後さらに右ボタンを押すと時刻が設定されます。

タイマー設定モードで 10 秒間無操作になると自動的に時刻表示に戻ります

## 4.5 燃焼室のセットアップ

### 1. 燃焼室扉を開きます

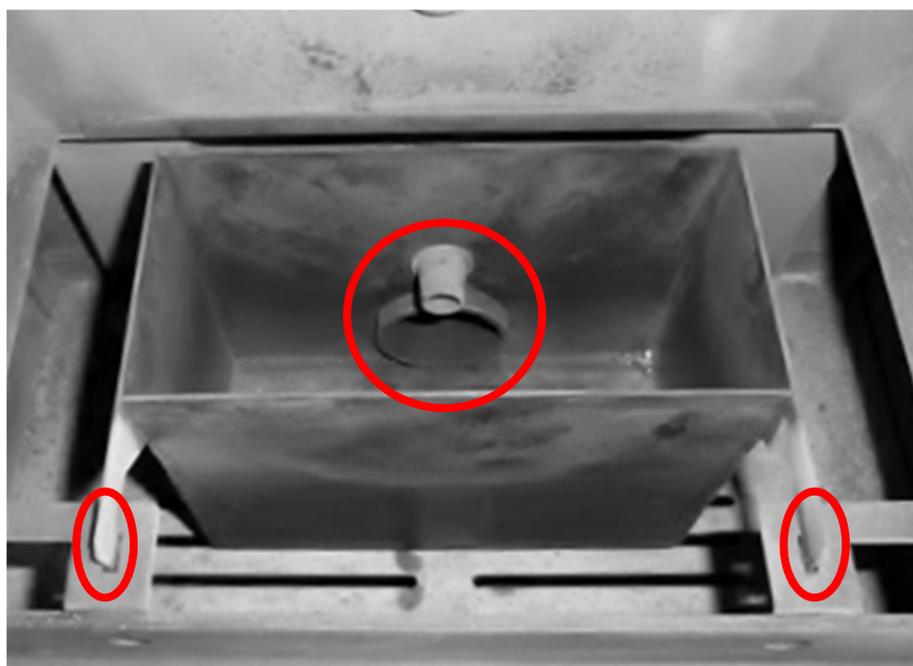
- 正面右側の燃焼室扉開閉ハンドルを持ち手前に引き上げてください。  
燃焼室扉が開きます。
- 扉を開いた状態で扉に重量をかけたり、無理に開いたりしないでください。  
故障の原因となります。
- 閉める時に確実にロックされていることを確認してください。  
燃焼不良や排ガスが室内に漏れて火災が発生するおそれがあります。



燃焼室下部には大きな筒と小さな筒の2本が背面から伸びています。



2本の筒が燃焼ポット受の穴に入るように燃焼ポット受を設置します。  
前側2ヶ所ある切りかけにポット受のつめを入れてください。



真ん中の細い筒が中央下部の穴に入るように燃焼ポットを設置します。  
このとき燃焼ポットが傾かないよう注意してください。上から押さえてきちんと安定する場所が正常な設置位置です。



## 4.6 灰処理

※必ず消火後、完全に冷えた状態で行ってください。

### 1. メンテナンス扉を開ける

●燃焼室扉を開きメンテナンス扉の取っ手に指をかけてメンテナンス扉を本体の下方向に引くとメンテナンス扉が開きます。



### 2. 灰受けを引き出す

●灰受けの蝶ネジをゆるめて、手前に引き出して灰受けを取り出す。



### 3. 灰受けの灰を不燃材で作られた容器に除去する。

●容器の灰は24時間程度保管し、完全に冷えた状態で廃棄してください。



### 4. 灰受けを戻しメンテナンス扉を閉める。

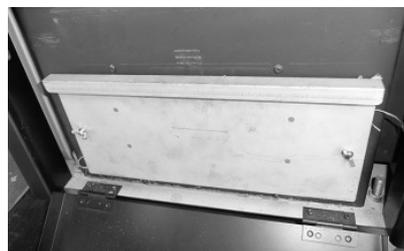
●灰受けが確実に挿入されているか確認ください。

すき間があると燃焼不良の原因になります。

●灰受けレールや奥にペレットや異物が無いか確認してください。

灰受けが完全に閉まらない原因となります。掃除機等で掃除してください。

灰受けを閉めて蝶ネジを最後まで締めてください。



## ご注意

●灰受けは消火後もしばらく高温です。

作業は完全に冷えたことを確認してから行ってください。

## 5. 使用方法

### 5.1 着火

着火前には必ず燃焼ポット内を確認してペレットや灰をすべて取り去ってください。

#### ご注意

着火不良「E06」で、何回も着火操作をしたあとに着火すると、燃焼ポット内にたまった多量のペレットによって着火時に大きな音がしたり、多量の白煙が発生する場合があります。また、着火後も過剰燃焼して炎が大きくなり、燃焼ポット外にペレットがはみ出して灰受け内へ燃焼殻が落ちたりします。このようなときは、あわてずに、燃料量調節つまみをOFFにしてペレットが供給されないことを確認し、たまった燃料が燃えつきるまで待ってください。その時「運転/停止ボタン」は、絶対に押さないでください。また電源プラグはコンセントから絶対に抜かないでください。

#### 1. ペレットの確認

- タンク内にペレットが十分供給されていることを確認してください。

#### 2-1 運転/停止ボタンを押す

- 背面の主電源を入れてください。
- 操作パネルの燃料調節つまみを6の位置に設定してください。
- 向かって左側面のダンパつまみをすべて引き出してください。  
(全開で70 mm引き出すことができます。)
- 運転/停止ボタンを押して「運転」にしてください。

#### ご注意

- 点火は自動で行います。  
マッチやライター、点火剤などを使用して点火させないでください。
- 運転/停止ボタンを押して、デジタル表示部に「E05」と表示された場合、排気が正常に行われていません。  
排気筒の詰まりなどを点検してください。

- 風量つまみの設定は着火には影響しませんが、着火後、約7～10分後に送風が開始されますのでお好みの数値に設定してください。

※ 着火操作後以下のような動作をします。

- 直後 : 排気用ファンが動作し、ペレット燃料の投入が始まります。  
 操作部では、動作ランプが点灯、運転/停止ボタンが点滅します。
- 約 3～4 分後 : 燃焼ポットにたまったペレット燃料に火がつきます。  
 5 分後に運転/停止ボタンが点灯に変わります。
- 約 7～10 分後 : 風量調節つまみがオフになっていない場合、送風が開始されます。

- 着火時には、排気筒トップより白い煙が出ることがありますが異常ではありません。  
 しばらくすると煙は出なくなります。
- ご購入されて初めて使用されるときに、製品の塗料やパッキンなどの焼けるような  
 においがする場合があります。このような場合は、お部屋の窓を少し開け、半日から  
 1 日程度、火力「MAX」で運転をしてください。
- 運転中はときどき燃料タンク内の燃料をならしてください。
- タンク内の燃料が少なくなったら補給してください。  
 ※ タンクが空になるまで燃焼させると燃焼不良により排気口から白煙や臭気が発生  
 する場合があります。
- 運転中、正常に燃焼しているかどうか、燃焼室扉のガラスから見て炎の状態を確認し  
 てください。
- 初めて運転するときや、燃料タンクを空にして燃料補給したあとなどは、燃料供給  
 経路内にペレットが満たされていないことにより、着火できないことがあります。  
 このようなときは、「運転/停止ボタン」を押下し運転後、「燃料手動投入ボタン」を  
 ペレットが出るまで押し続けてください。

## 2-2 最速着火

※できるだけ早く着火したい場合には以下の手順で操作してください。

- 背面の主電源を入れてください。
- 操作パネルの燃料調節つまみを左に回し OFF にしてください。
- 向かって左側面のダンパつまみをすべて引き出してください。  
(全開で 70 mm 引き出すことができます。)
- 「運転/停止ボタン」を押して「運転」にしてください。
- 「ペレット手動投入ボタン」を押して、ペレットが燃焼ポットの奥下部にある穴を塞ぐところまでペレット燃料を投入してください。



- 炎が十分燃え広がったら、燃料調節つまみを回し火力 1 ～MAX に調節してください。
- 風量つまみの設定は着火には影響しませんが、着火後自動的に送風が開始されます。お好みの数値に設定してください。

※ 着火操作後以下のような動作をします。

- |        |   |
|--------|---|
| 直後     | : 排気用ファンが動作します。<br>操作部では、動作ランプが点灯、運転/停止ボタンが点滅します。   |
| 約 2 分後 | : 燃焼ポットにたまったペレット燃料に火がつきます。                          |
| 約 5 分後 | : 風量調節つまみがオフになっていない場合、送風が開始されます。<br>運転/停止ボタンが点灯します。 |

## 2-3 タイマー着火

※タイマー動作で決まった時間に着火したい場合には以下の手順で操作してください。

- タイマー時刻の設定をしてください。(4.4 参照)
- 操作パネルの燃料調節つまみを6の位置に設定してください。
- 向かって左側面のダンパつまみをすべて引き出してください。  
(全開で70 mm引き出すことができます。)
- タイマー入/切ボタンを押してください。
- 風量つまみの設定は着火には影響しませんが、着火後自動的に送風が開始されますのでお好みの数値に設定してください。

※着火操作後以下のような動作をします。

タイマー入/切ボタン押下：タイマー入/切ボタンが点灯します。

この時ストーブが運転状態であった場合には  
消火動作を行います。

設定時間：排気用ファンが動作し、ペレット燃料の投入が始まります。

操作部では、運転/停止ボタンが点滅します。

タイマー入/切ボタンが点滅します。

約3～4分後：燃焼ポット内にたまったペレット燃料に火がつきます。

運転/停止ボタンが点灯に変わります。

約7～10分後：風量調節つまみがオフになっていない場合、送風が開始されます。

3時間後：自動的に消火します。(5分前にブザーが鳴動します)

※ストーブが冷えるまで約20～40分間排気ファンが回り続けます。

### ご注意

- タイマー着火では着火後3時間で自動的に消火動作を行います。  
継続して使用される場合は「運転/停止ボタン」を押してください。  
通常動作になり「タイマー入/切ボタン」が消灯します。
- 時刻合わせをしないとタイマー運転はできません。先に時刻合わせを行ってください。
- タイマー着火する場合は、周囲に可燃物や、その他危険な状態でないことを確認してください。
- おでかけの時はタイマー着火をしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

## 5.2 火力調整

1. 燃料量調整つまみを回し好みの火力に設定する。

- つまみを回すことにより火力が変化します。
- 設定範囲は1～MAX (0.35kg/h～1.3kg/h) です。
- つまみを左いっぱいに戻すとペレットが出なくなります。  
最速着火に使用しますが、通常は1より左に戻さないでください。

### ご注意

- 燃焼中、炎がかたよったり火の粉が混ざったり、上下変動することがありますが異常ではありません
- 燃焼中、「ガリガリ」と音をたてる場合があります。
- 風が非常に強い時には、安全装置が働きデジタル表示部に「E05」と表示され自動的に消火することがありますが異常ではありません。再点火してください。

※操作部の燃料調節つまみでペレットの投入量を調整することで火力を調整します。  
ペレットの投入量は使用する木質ペレットによって差があります。  
投入量は以下を目安にしてください。

燃料調節つまみ	ペレット投入量
OFF	なし
1	350 g/h
2	500 g/h
3	600 g/h
4	700 g/h
5	800 g/h
6	900 g/h
7	1000 g/h
8	1200 g/h
MAX	1300 g/h

※ ペレット投入量は「EN+認証 A1 規格品」の実測データを基準に算出しています。

### 5.3 風量調整

1. 風量調整つまみを回し好みの風量に調整する。

- つまみを回すことにより温風吹き出し口から出る風量が変わります。
- 設定範囲は1～MAXまで9段階で調整できます。
- つまみを左いっぱいに戻すと温風が出なくなります。

#### ご注意

- 温風を止めることはできますが、燃焼室の温度が規定以上になると安全のために自動的に最大風量で送風を行います。
- 火力がMAXの状態でも温風をOFFにすることはしないでください。

### 5.4 ダンパ調整

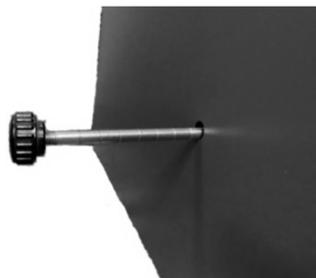
向かって左側面のダンパつまみの調整で燃焼に必要な空気量の調整ができます。

木質ペレットの種類や状態、供給量によって、炎が小さかったり炎が大きくなりすぎて黒煙が混じったりなど燃焼不良の状態や、通常よりもガラスに煤ついたり白色や黒色に汚れる症状が出る場合、又、燃料の供給量が「燃料調節つまみ」でダイヤル1・2の少量で燃焼した場合に立ち消えて「E07」が出て停止するような時には、ダンパにて燃焼に必要な空気量を調節して下さい。

- ダンパ調節レバーをスライドさせ、炎の大きさや状態を調整して下さい。
  - ・ダンパつまみを引き出した状態はダンパ開で空気量が上がります。
  - ・ダンパつまみを押し込んだ状態はダンパ閉で空気量が下がります。

ダンパの調整位置は木質ペレットの種類や状態、投入量で変わります。

新規で使われる時や木質ペレットを変えた時など状態を見ながらダンパ調整をして下さい。



ダンパ全開



ダンパ全閉

## 5.5 消火

1. 運転/停止ボタンを押下し「停止」する
  - 運転/停止ボタンが消灯します。
  - ペレットの供給が停止します。
2. 消火を確認する。
  - 排気ファンはストーブが冷えるまで約20～40分間排気ファンが回り続けます。
  - ストーブが安全な温度まで下がると自動的に排気ファンが止まります。
  - ストーブが止まっても、燃焼ポットはしばらくの間、高温です。  
灰掃除など燃焼室扉を開けるときは完全に冷えた状態で行ってください。

### ご注意

- 電源プラグは排気ファンが停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。  
ストーブが過熱し故障や、予想しない事故の原因になります。
- おでかけになるときは必ず消火してください。

## 5.6 運転中に燃料がなくなったら（「E07」表示で停止した場合）

- 運転/停止ボタンを押して「停止」の状態にします。
- 燃焼をペレットタンクに入れます。
- 初めて使用するとき同様に、「運転/停止ボタン」を押下し「運転」後、「燃料手動投入ボタン」をペレットが出るまで押し続けてください。
- 燃料が燃焼ポットへ落ち始めたら、運転を再開します。

### ご注意

燃料タンクが空になっても、まだ運転が続いている状態で燃料を補充しないでください。重大な事故となる可能性があり大変危険

## 6. 点検・お手入れ

★詳しくは、別紙「メンテナンスマニュアル」を参照してください。

### 6.1 日々のお手入れ

※必ず消火後、完全に冷えた状態で行ってください。

#### 1. 燃焼ポット

- 毎回、燃焼前に燃焼ポットの中に灰がたまっていないか確認してください。
- たまっている場合は燃焼ポットを取り出し掃除をしてください。  
木質ペレットの質によって、燃焼ポットを掃除する頻度が変わります。
- 燃焼ポット受けも取り外して掃除してください。

※燃焼ポット及び燃焼ポット受けが正確な位置にあるか確認してください。

正確な位置にないと着火不良や燃焼不良になります。

#### 2. 燃焼室扉ガラス

- ガラスの汚れが気になる場合はガラスを布やウェットティッシュ、新聞紙等で拭いてください。  
ペレットの種類や燃焼状態によってガラスの汚れる程度が変わります。

#### 3. 灰受け

- 前面下のメンテナンス扉を開けて灰受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 灰受けの灰を不燃材で作られた容器に除去してください。  
容器の灰は24時間以上保管し、完全に冷えた状態で破棄してください。
- 灰受けは、消火後もしばらくの間、高温です。  
作業は完全に冷えたことを確認してから行ってください。
- ペレットの種類によって灰を捨てる頻度が変わります。

※ 灰受けを戻すときに、灰受け皿や奥に異物が無いことを確認してから

戻してください。異物で灰受けがしっかり閉まらなると燃焼不良になります。

#### 灰について

灰は木灰として、菜園などに有効に活用できます。

廃棄物として処分する場合は、各市町村によって回収方法が異なりますのでお住まいの市町村にご確認ください。

## 6.2 シーズン終了時のお手入れ

長期間使用しない場合には以下のメンテナンスを行ってください。

★詳しくは、別紙「メンテナンスマニュアル」を参照してください。

### 1. ペレットタンクの掃除

- 残ったペレット燃料をすべて取り出してください。
- ペレットタンク内に残った木屑等を掃除機等で吸い出してください。  
ペレットタンク内に残ったペレットや木屑は水分を吸い、内部の錆や供給部の故障の原因になります。

### 2. 燃焼室の掃除

- 燃焼ポット及び燃焼ポット受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 燃焼室に残った灰やペレットなど掃除機等を使って取り除いてください。  
燃焼室に残った灰やペレットが水分を吸収し、内部のサビや機器の故障の原因になります。

### 3. 灰受けの掃除

- メンテナンス扉を開けて灰受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 灰受け皿や灰受け皿の奥を掃除機等で掃除してください。
- 灰受けを戻すときに、奥や灰受け皿に異物が無い事を確認してから戻してください。  
灰受け皿に灰やペレットなどが残っていると灰受けがしっかり閉まらず燃焼不良の原因となります。

### 4. 排気筒の掃除

- 排気筒に煤や灰がたまって固まりになることがありますので、筒内を掃除してください。  
排気筒内に残った煤や灰は排気の障害になり、不完全燃焼の原因となります。

## 6.3 再使用時のお手入れ

長期間使用しなかった後、再度使用を始める場合には以下の確認を行ってください。

- 排気筒内に虫や鳥獣が巣を作ることがありますので、中を確認してください。
- 開封後長期間保存したペレット燃料は湿気を吸っている場合があるので、水を吸って膨らんでいるペレット燃料は使用しないで新しいペレット燃料を準備してください。

## 7. エラー表示内容

エラーが発生したときには、時刻表示部にエラー番号が表示されます。  
エラーには以下のようなものがあります。

エラー表示	内容	対処
E 02	ペレットタンク部異常温度	代理店にご連絡ください。
E 03	本体内部壁面部異常温度	代理店にご連絡ください。
E 04	振動センサ検知	ストーブに異常な振動や傾斜があります。 安定して設置されているかを確認してください。 運転/停止ボタンを押すと復帰します。 強い振動が起きた後は排気筒や設置位置のずれ、不良のおそれがありますので、ずれていないか確認をしてください。
E 05	負圧センサ (排気センサ) 検知	排気が正常に行われていません。 ・排気筒が詰まっていないか？ ・燃焼室扉がきちんと閉まっているか？ を確認してください。 運転/停止ボタンを押すと復帰しますが、連続して発生する場合にはご相談ください。
E 06	着火不良	着火時に十分な熱量が得られなかったため消火した状態です。着火してから温風が吹き出すようになるまでは強めの火力に調節してください。 運転/停止スイッチを押すと復帰します。
E 07	失火	動作中にストーブの温度が下がりすぎたため消火した状態です。 ペレット燃料がなくなっていないか確認してください。 気温が極めて低い地域では一定以上の火力で燃やし続ける必要があります。
その他	その他理由	代理店にご連絡ください。

## 8. トラブルシューティング

内容	確認事項	対策
運転/停止スイッチを押しても動作しない。	コンセントがつながっていますか？	エコティ PS302 は電源が無いと動作しません。 AC100V の専用電源コンセントに背面電源コードを差し込んでください。
	主電源スイッチはONになっていますか？	主電源スイッチをONにしてください。
	ヒューズは入っていますか？	背面電源部にヒューズボックスがありますので、ヒューズが入っていない場合や切れている場合は 100V 15A のヒューズを入れてください。
時刻表示がされず、アルファベットのEと数字の組み合わせで表示されている。	時刻表示部に「E02」が表示されていますか？	内部で異常な温度になりました。機器が正常に動作していない可能性がありますので代理店にご相談ください。運転/停止ボタンを押すと復帰します。
	時刻表示部に「E03」が表示されていますか？	内部で異常な温度になりました。機器が正常に動作していない可能性がありますので代理店にご相談ください。自動的に復帰しません。
	時刻表示部に「E04」が表示されていますか？	ストーブに異常な振動や傾斜がありました。安定して設置されているかを確認してください。 運転/停止ボタンを押すと復帰します。 強い振動が起きた後は排気筒や設置位置のずれ、不良のおそれがありますので、ずれていないか確認をしてください。
	時刻表示部に「E05」が表示されていますか？	排気が正常に行われていません。 ・排気筒が詰まっていないか ・燃焼炉扉がきちんと閉まっているか を確認してください。 運転/停止ボタンを押すと復帰しますが、連続して発生する場合にはご相談ください。

	時刻表示部に「E06」が表示されていますか？	着火時に十分な熱量が得られなかったため消火した状態です。着火してから温風が吹き出すようになるまでは強めの火力に調節してください。 運転/停止スイッチを押すと復帰します。
	時刻表示部に「E07」が表示されていますか？	動作中にストーブの温度が下がりすぎたため消火した状態です。 ペレット燃料がなくなっていないか確認してください。 気温が極めて低い地域では一定以上の火力で燃やし続ける必要があります。
	時刻表示部にそれ以外の表示がされていますか？	代理店にご連絡ください。
黒い煙や煤が出る。	ダンパが開いた状態（ダンパ調節つまみを引き出した状態）になっていますか？	空気量が少ない場合には正常な燃焼をしません。ダンパ調節つまみは十分に引き出した状態で使用してください。
	燃焼ポットの中が詰まっていますか？	燃焼ポットの中が灰等で詰まってしまうと正常な燃焼をしません。 掃除をして取り出してください。
燃焼ポットに灰がたまる。	ISO規格のA1認証品を使用していますか？	使用する燃料の質が悪いと灰がたまりやすくなります。燃料にあわせて灰をためずに燃やせる範囲にダンパを調節してください。
	ダンパが開いた状態（つまみを引き出した状態）になっていますか？	ダンパが閉じていると燃焼ポット内に灰がたまりやすくなります。ダンパを開くようにしてください。
	燃焼ポットがきちんと設置されていますか？	燃焼ポットが正しく設置されているか確認してください。（4.5参照） 位置がずれていたり隙間があると正しく燃焼しません。
温風が勝手に出る。	火力が強すぎませんか？	火力が強い状態で風量つまみを絞っていると内部温度が上がるため、強制的に最大風量で送風を開始します。 内部温度が下がると自動的に戻りますが、火力が強い場合には温風を使用するようにしてください。

ペレットの量が 変わる。	使用するペレットを変え ませんでしたか？	ペレットの種類によってペレットの量が 変化することがあります。使用するペレ ットを変更した場合は、正常に燃やせる 設定が判るまで注意をしてください。
着火しない。	燃焼炉がきちんと設置さ れていますか？	燃焼炉が正しく設置されているか確認し てください。(4.5 参照) 位置がずれていたり隙間があると正しく 燃焼しません。
	ペレットが十分供給され ていますか？	着火時には燃焼ポット奥の中央下部にあ る着火穴を塞ぐくらいまでペレット燃料 が補給されている必要があります。
	動作を開始して 1 分後に 燃焼ポット奥の中央下部 にある着火穴が赤く発光 しますか？	運転/停止ボタンを押すと着火用ヒータ が動作し、燃焼ポット奥の中央下部にあ る着火穴に赤い発光が現れます。発生し ない場合は販売店までご相談ください。
ストーブから強 い臭いがする。	購入直後ではありません か？	新品のストーブは最初臭いがあります。 購入直後は換気をしながら試し燃焼をし てください。
	排気の臭いではありません か？	室外には燃焼後の排気が出ますが、窓の 位置や風向きで排気が室内に戻ってくる 場合があります。こちらには木の燃える 臭いがあります。
炎が大きくなら ない。	ダンパが開いているかを 確認してください。(5.4 参照)	排気の勢いが強いと炎が大きくなりませ ん。ちょうどいい箇所に調節してくださ い。
タイマーが動作 しない。	タイマーボタンは押して ありますか？	タイマー動作は操作部右下のタイマー入 /切ボタンが押されているときに有効に なります。この時ボタンは緑色に点灯し ます。
	時刻の設定は正しく設定 してありますか。	現在時刻とタイマー時刻を設定する必要 があります。時間がずれている場合や未 設定の場合は正しく動作しません。(4.4 参照)
ストーブが自動 的に消火した。	タイマー動作で着火して いませんか？	タイマー動作で着火した場合は着火から 3 時間が経過すると自動的に消火します。 継続して燃やす場合は運転/停止ボタ ンを押して通常動作に切り替えてくださ い。

## 9. 仕様

名 称		ペレットストーブ
型 式 の 呼 び		PS302
区 分		半密閉式ペレットストーブ
種 類	燃 焼 方 式	直接送風燃焼式
	給 排 気 方 法	強制排気式 (FE 式) ※3
	用 途 別 方 法	強制対流形
使 用 燃 料		木質ペレット※1
点 火 方 法		電気点火 (熱風点火式)
発 熱 量※2	最 大	6.5kw
	最 小	1.8kw
熱 効 率 (EN14785)	最 大	86%
	最 小	87%
暖 房 出 力※2	最 大	5.4kw
	最 小	1.5kw
燃 料 消 費 量※2	最 大	1.3kg/h
	最 小	0.35kg/h
外 形 寸 法 (本体寸法)	高 さ	850mm
	幅	450mm
	奥 行	470mm
重 量		96kg
ペレットタンク容量		14kg
電 源 電 圧		AC100V (15A 以上)
定 格 消 費 電 力		56w (最大燃焼時)
排 気 筒 の 呼 び 径		φ120×φ80
安 全 装 置		感震消火装置、加熱防止装置。逆圧安全装置 点火安全装置。燃焼制御装置

- ※1 使用燃料は当社が推奨する木質ペレットをご使用ください。  
(推奨燃料は ISO 規格「ISO17225」の A1 認証品又は同等品質のペレット。) それ以外のペレットでのご使用は燃焼不良を起こしたり、途中失火したり、エラーで止まることがあります。
- ※2 ペレット種類や状態により発熱量・暖房出力・燃料消費量が異なることがあります。  
(発熱量は木質ペレットの発熱量、4300kcal/kg を基準に算出しています。)
- ※3 オプションの外付け吸排気ダクトを取付けることにより FF 式としてご使用になれます。

## 10. アフターサービス

### 10.1 保障について

★保障期間はご購入の日より1年間です。

- 故障や異常な症状がみられる場合は、事故防止のため使用をせずスイッチをコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ず代理店か、ご購入求めの販売店に点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対なさないでください。
- 保証書の規定にしたがって、代理店か弊社が修理させていただきます。

#### 保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、ご購入後1年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 保障期間内に故障して修理を受ける場合は、販売店までご連絡ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (イ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
  - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
  - (エ) 保証書の提示がない場合。
  - (オ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名、設置事業社名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (カ) 消耗部品。
  - (キ) 故障の原因が本商品以外に起因する場合。
  - (ク) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
5. 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です

- 保障期間が過ぎている時の修理料金は、代理店かご購入求めの販売店に相談ください。
- 修理代金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

### 10.2 補修用性能部品について

- ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。



製造・販売 **株式会社 西村精工**

〒939-1661 富山県南砺市天神 56

TEL : 0763-52-0024

FAX : 0763-52-5893

E-mail : [info@nishimura-sk.co.jp](mailto:info@nishimura-sk.co.jp)

HP : [www.ecoty.info](http://www.ecoty.info)